

平成26年度 飛鳥資料館冬期企画展

「飛鳥の考古学2014—縄文・弥生・古墳から飛鳥へ—」

飛鳥地域の歴史は、7世紀を中心に取り上げられますが、じつはそれ以前の縄文時代・弥生時代・古墳時代の考古資料も知られています。宮殿や寺院が造られる以前、この地ではまったく異なる暮らしや風景が広がっていました。そこで、今回は「縄文・弥生・古墳から飛鳥へ」をテーマにした展示を企画しました。

あわせて、飛鳥地域の2013年度の発掘調査成果を展示します。甘樫丘東麓遺跡、飛鳥京跡苑池、飛鳥寺西方遺跡等の調査が進み、重要な発見が相次いでいます。これらの成果を縄文・弥生・古墳時代の資料とともにご覧いただくことで、異なった視点から飛鳥の歴史に迫れるのではないのでしょうか。この冬は、飛鳥の新発見とともに、宮殿や寺院の下に眠るもう一つの飛鳥の魅力をぜひお楽しみください。

(飛鳥資料館 丹羽 崇史)

会 期：2015年1月16日(金)～3月1日(日)月曜休館

開 館 時 間：9:00～16:30(入館は16:00まで)

ギャラリートーク：1月17日(土)、2月15日(日)各日10:30～、14:00～ 研究員が展示を解説します。

ホームページ：<http://www.nabunken.go.jp/asuka/> お問合せ：☎0744-54-3561(飛鳥資料館)



編集 「奈文研ニュース」編集委員会
発行 奈良文化財研究所 <http://www.nabunken.go.jp/>
Eメール jimu@nabunken.go.jp
発行年月 2014年12月